



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 藤井産業株式会社 上場取引所 東
コード番号 9906 URL <https://www.fujii.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 昌一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員コーポレート本部長 (氏名) 渡邊 純一 TEL 028(662)6060
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	21,507	11.0	867	50.5	1,079	36.5	840	93.1
2025年3月期第1四半期	19,380	6.9	576	△0.3	790	2.7	435	△7.2

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 1,044百万円(100.4%) 2025年3月期第1四半期 521百万円(△24.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	99.38	—
2025年3月期第1四半期	51.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	63,822	40,175	59.1	4,461.18
2025年3月期	66,704	40,078	56.5	4,452.80

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 37,726百万円 2025年3月期 37,655百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	25.00	—	105.00	130.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		50.00	—	80.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	44,000	3.4	1,700	△18.5	1,900	△22.1	1,200	△20.2	141.90
通期	102,000	6.1	5,300	△1.1	5,700	△5.4	3,700	△10.3	437.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ー 社 (社名) ー、除外 ー 社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	10,010,000株	2025年3月期	10,010,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,553,436株	2025年3月期	1,553,436株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	8,456,564株	2025年3月期1Q	8,456,606株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や旺盛なインバウンド需要の増加などにより、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、引き続き原材料価格や資源価格の高止まり、米国の関税政策の動向や長期化している地政学リスクなどの懸念もあり、今後も先行き不透明な状況が続くと思われます。

このような状況の下、当社グループは、「常に時代に対応し、新たな価値を創造しつづける企業グループ」を目指し、持続的な成長と更なる企業価値の向上を図るべく事業展開をしております。

当第1四半期連結累計期間における連結成績は、売上高215億7百万円(前年同四半期比11.0%増)、経常利益10億79百万円(前年同四半期比36.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、8億40百万円(前年同四半期比93.1%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(マテリアルイノベーションズカンパニー)

電設資材事業は、省エネ法トップランナー変圧器第三次判断基準に伴う高圧受電設備改修の増加や、蛍光管製造中止に伴うLED照明への駆け込み需要が高いことに加え、酷暑予想に伴うエアコン販売も好調に推移したことから、前期を上回る売上高となりました。

建設資材事業は、栃木、茨城、仙台、東京地区で外壁工事や屋根工事の大型物件が堅調に推移し、前期を上回る売上高となりました。

情報ソリューション事業は、セキュリティ設備、文教リブレース提案案件が順調に推移し、前期を上回る売上高となりました。

コンクリート圧送は、新規建設案件の受注が伸び悩み、前期を下回る売上高となりました。

この結果、売上高は124億46百万円(前年同四半期比16.5%増)となりました。

(インフラソリューションズカンパニー)

機器制御事業は、医療機器関連、半導体関連、物流関連を中心に主力製品の販売や設備投資案件が堅調に推移し、前期を上回る売上高となりました。

総合建築事業は、本社、大阪エリアで堅調に推移し、前期を上回る売上高となりました。

環境エネルギー事業は、東京エリアで伸長したものの、前期を下回る売上高となりました。

設備プラント事業は、水戸、埼玉エリアで大きく伸長し、前期を上回る売上高となりました。

この結果、売上高は72億56百万円(前年同四半期比10.1%増)となりました。

(コマツ栃木)

土木建設機械事業は、ITツールを活用した次世代のサービスビジネスモデル構築を図ったことで、サービス修理メンテナンス売上は順調に推移したものの、新車本体販売は前年度からの受注残減少に加え、県内公共投資の減少に伴う土木工事の低調が重なったことで前期を下回る売上高となりました。

この結果、売上高は14億44百万円(前年同四半期比13.6%減)となりました。

(その他)

再生可能エネルギー発電は、発電設備の一部売却や天候等の影響もあり、前期を下回る売上高となりました。

路面切削工事は、受注が低調になり、前期を下回る売上高となりました。

計測機器等の販売は、受注が伸び悩んだことで、前期を下回る売上高となりました。

この結果、売上高は3億60百万円(前年同四半期比17.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ28億81百万円減少し、638億22百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ23億21百万円減少し、480億91百万円となりました。これは、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことが主な要因であります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ5億60百万円減少し、157億30百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ29億77百万円減少し、208億79百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が減少したことが主な要因であります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ1百万円減少し、27億68百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ96百万円増加し、401億75百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において2025年5月14日公表の業績予想から変更しておりません。なお、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,182,125	21,449,845
受取手形、売掛金及び契約資産	25,364,026	19,610,834
商品	3,048,529	3,772,216
未成工事支出金	1,316,301	1,770,681
原材料及び貯蔵品	14,033	10,606
その他	1,562,824	1,537,051
貸倒引当金	△74,454	△59,434
流動資産合計	50,413,385	48,091,800
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,240,507	6,257,673
減価償却累計額	△3,693,489	△3,737,432
建物及び構築物（純額）	2,547,018	2,520,240
機械装置及び運搬具	5,750,388	3,966,452
減価償却累計額	△3,573,338	△2,883,371
機械装置及び運搬具（純額）	2,177,049	1,083,080
工具、器具及び備品	605,070	607,589
減価償却累計額	△500,349	△507,502
工具、器具及び備品（純額）	104,721	100,087
土地	3,183,449	3,156,830
リース資産	1,100,818	1,094,868
減価償却累計額	△262,812	△281,262
リース資産（純額）	838,005	813,606
建設仮勘定	1,884,802	2,332,933
有形固定資産合計	10,735,046	10,006,778
無形固定資産		
のれん	36,158	24,105
その他	113,411	106,123
無形固定資産合計	149,569	130,228
投資その他の資産		
投資有価証券	4,061,644	4,303,965
繰延税金資産	591,358	560,981
その他	858,001	833,975
貸倒引当金	△104,719	△105,355
投資その他の資産合計	5,406,284	5,593,567
固定資産合計	16,290,900	15,730,574
資産合計	66,704,285	63,822,374

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,211,511	14,166,785
短期借入金	550,000	450,000
未払法人税等	1,019,677	503,854
契約負債	2,488,920	2,859,337
リース債務	95,607	95,385
賞与引当金	1,123,920	492,670
役員賞与引当金	144,500	33,526
工事損失引当金	—	3,332
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
その他	1,162,248	2,214,217
流動負債合計	23,856,386	20,879,108
固定負債		
繰延税金負債	298,155	340,776
役員退職慰労引当金	31,476	32,903
退職給付に係る負債	958,169	973,165
リース債務	869,802	845,737
資産除去債務	161,479	162,104
その他	450,117	413,469
固定負債合計	2,769,200	2,768,158
負債合計	26,625,586	23,647,266
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,883,650	1,883,650
資本剰余金	2,075,627	2,075,627
利益剰余金	33,686,499	33,637,866
自己株式	△970,641	△970,641
株主資本合計	36,675,135	36,626,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	911,583	1,032,446
退職給付に係る調整累計額	68,677	67,331
その他の包括利益累計額合計	980,260	1,099,778
非支配株主持分	2,423,303	2,448,826
純資産合計	40,078,698	40,175,107
負債純資産合計	66,704,285	63,822,374

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	19,380,754	21,507,202
売上原価	16,269,555	17,974,681
売上総利益	3,111,198	3,532,520
販売費及び一般管理費	2,534,849	2,665,181
営業利益	576,348	867,339
営業外収益		
受取利息	678	1,223
受取配当金	56,317	64,528
仕入割引	70,855	75,887
受取賃貸料	15,454	14,023
持分法による投資利益	14,859	11,039
貸倒引当金戻入額	25,012	14,384
その他	50,185	46,198
営業外収益合計	233,363	227,286
営業外費用		
支払利息	7,452	10,125
賃貸費用	4,131	3,414
その他	7,364	1,798
営業外費用合計	18,949	15,338
経常利益	790,762	1,079,286
特別利益		
固定資産売却益	—	284,880
特別利益合計	—	284,880
税金等調整前四半期純利益	790,762	1,364,167
法人税等	309,992	473,637
四半期純利益	480,770	890,529
非支配株主に帰属する四半期純利益	45,578	50,075
親会社株主に帰属する四半期純利益	435,191	840,454

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	480,770	890,529
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,127	155,400
退職給付に係る調整額	△85	△1,345
持分法適用会社に対する持分相当額	3,287	△289
その他の包括利益合計	40,329	153,766
四半期包括利益	521,100	1,044,295
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	455,867	959,972
非支配株主に係る四半期包括利益	65,232	84,323

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年6月27日 定時株主総会	普通株式	635,066	75	2024年3月31日	2024年6月28日	利益剰余金

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年6月26日 定時株主総会	普通株式	889,087	105	2025年3月31日	2025年6月27日	利益剰余金

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	マテリアル イノベーションズ カンパニー	インフラ ソリューションズ カンパニー	コマツ栃木	計		
売上高						
北関東エリア	7,156,024	3,863,275	1,672,331	12,691,631	372,375	13,064,006
首都圏エリア	3,304,589	1,569,332	—	4,873,921	—	4,873,921
東北エリア	220,878	461,496	—	682,374	—	682,374
その他	—	697,720	—	697,720	62,729	760,450
顧客との契約から生じる収益	10,681,491	6,591,825	1,672,331	18,945,648	435,105	19,380,754
外部顧客への売上高	10,681,491	6,591,825	1,672,331	18,945,648	435,105	19,380,754
セグメント間の内部売上高又は振替高	26,290	1,252	1,417	28,960	944	29,904
計	10,707,782	6,593,078	1,673,748	18,974,609	436,049	19,410,658
セグメント利益	373,673	135,379	164,620	673,673	108,840	782,514

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー発電事業、路面切削事業等を含んでおります。

2 北関東エリアは、茨城県、栃木県、群馬県における売上高であります。

3 首都圏エリアは、埼玉県、東京都、千葉県における売上高であります。

4 東北エリアは、宮城県、福島県における売上高であります。

5 その他は、上記エリア以外における売上高であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	673,673
「その他」の区分の利益	108,840
持分法による投資利益	14,859
配賦不能全社損益(注)	△7,680
その他の調整額	1,070
四半期連結損益計算書の経常利益	790,762

(注) 配賦不能全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない当社コーポレート本部の一般管理費及び営業外損益であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	マテリアル イノベーションズ カンパニー	インフラ ソリューションズ カンパニー	コマツ栃木	計		
売上高						
北関東エリア	7,981,733	4,029,891	1,444,247	13,455,872	321,816	13,777,688
首都圏エリア	3,992,412	2,380,933	—	6,373,346	—	6,373,346
東北エリア	471,860	423,961	—	895,822	—	895,822
その他	—	421,990	—	421,990	38,355	460,345
顧客との契約から生じる収益	12,446,006	7,256,776	1,444,247	21,147,031	360,171	21,507,202
外部顧客への売上高	12,446,006	7,256,776	1,444,247	21,147,031	360,171	21,507,202
セグメント間の内部売上高又は振替高	19,202	3,567	66	22,836	1,286	24,123
計	12,465,209	7,260,343	1,444,314	21,169,867	361,458	21,531,326
セグメント利益	668,100	150,590	181,655	1,000,346	77,644	1,077,990

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー発電事業、路面切削事業等を含んでおります。

2 北関東エリアは、茨城県、栃木県、群馬県における売上高であります。

3 首都圏エリアは、埼玉県、東京都、千葉県における売上高であります。

4 東北エリアは、宮城県、福島県における売上高であります。

5 その他は、上記エリア以外における売上高であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,000,346
「その他」の区分の利益	77,644
持分法による投資利益	11,039
配賦不能全社損益(注)	△11,104
その他の調整額	1,360
四半期連結損益計算書の経常利益	1,079,286

(注) 配賦不能全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない当社コーポレート本部の一般管理費及び営業外損益であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	174,087千円	173,649千円
のれんの償却額	12,052	12,052

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。